

令和元年度

あ ゆ み

～ 献血から輸血まで ～



(献血ポスターコンクール最優秀作品)
能登町立松波中学校3年 大鷲 晴香



石川県赤十字血液センター



令和元年度 あゆみ ～献血から輸血まで～ 発刊にあたって

献血事業の推進につきましては、皆様方には平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和元年度に本県においては、前年度比106.1%の45,152人の皆様から献血にご協力いただき、安全な輸血用血液製剤を安定的に医療機関そして患者さんへお届けすることができました。これも皆様方のご支援とご協力の賜物と心よりお礼申し上げます。

献血を取り巻く状況を見ますと、医療技術の進歩などにより、難病の患者さんが必要とする血液製剤の需要が増加し、その安定的な供給がこれまで以上に求められています。また、少子高齢化による献血可能人口の減少に対応して、将来にわたり安定的に献血者を確保するためには、若い世代の献血者数と献血率の増加が必要です。

このため、当センターでは、県及び市町、学生ボランティア、ライオンズクラブ等の献血推進団体の皆様と緊密に連携し、献血の受入体制の整備、献血についての広報活動、若年者の献血推進事業、献血web会員サービス「ラブラッド」会員の登録推進等を行ってまいりました。こうした中、本県の若い世代の献血者数は、10代は年々増加傾向に、20代、30代では減少傾向にありましたが、令和元年度は20代、30代とも前年に比べ増加に転じました。この傾向が今後続くよう、当センターとしても努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

令和元年7月には、秋篠宮皇嗣妃殿下ご臨席のもと、「第55回献血運動推進全国大会」が石川県立音楽堂で開催されました。大会に先立ち、皇嗣妃殿下は、当センターをご訪問なされ、当県の献血推進活動や石川県学生献血推進委員会の取り組みなどをご視察されました。献血セミナーでは、活発に議論する学生ボランティア一人ひとりに温かいお言葉をかけてくださるなど、これからの活動に向けて大きな励みになりました。

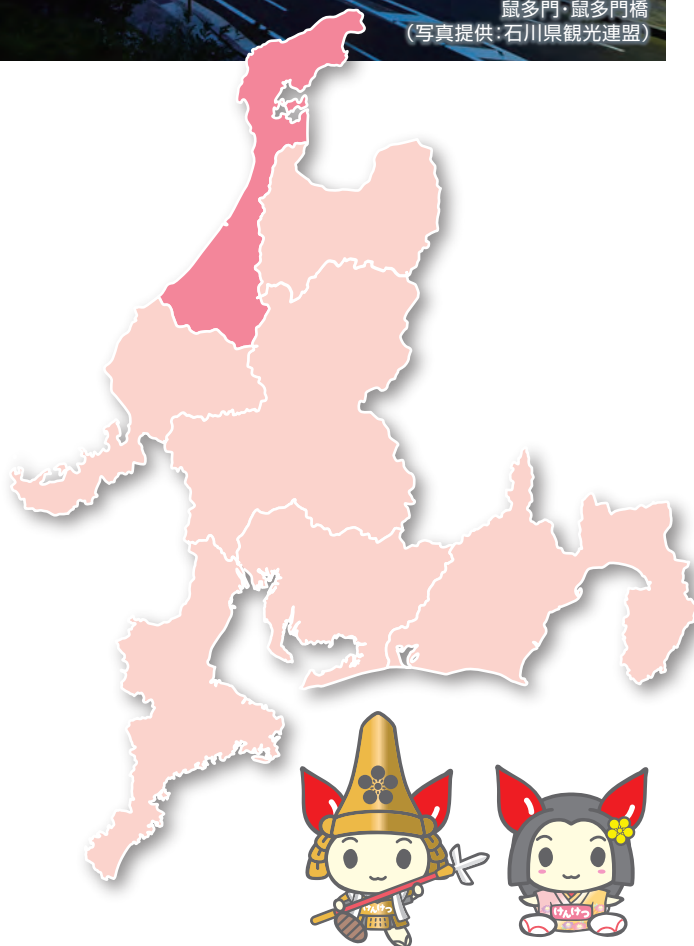
この冊子は、令和元年度における当センターの取組や血液事業の概要などをまとめたものです。この冊子が献血への関心をより高め、献血活動の推進に貢献できれば幸いです。また、当センターは昭和40年に誕生して以来、令和2年1月で満55年となりました。この間の歩みは、県民の皆様の温かな心に支えられたものでありまして、心より感謝申し上げます。現在のウイズコロナ時代の中でも、県民の皆様安心して献血していただけますよう、新しい生活様式に合わせた献血環境の充実・改善、採血技術の向上など職員一同なお一層努力してまいりますので、今後とも、引き続きご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年11月

石川県赤十字血液センター
所 長 金 井 雅 利



鼠多門・鼠多門橋
(写真提供:石川県観光連盟)



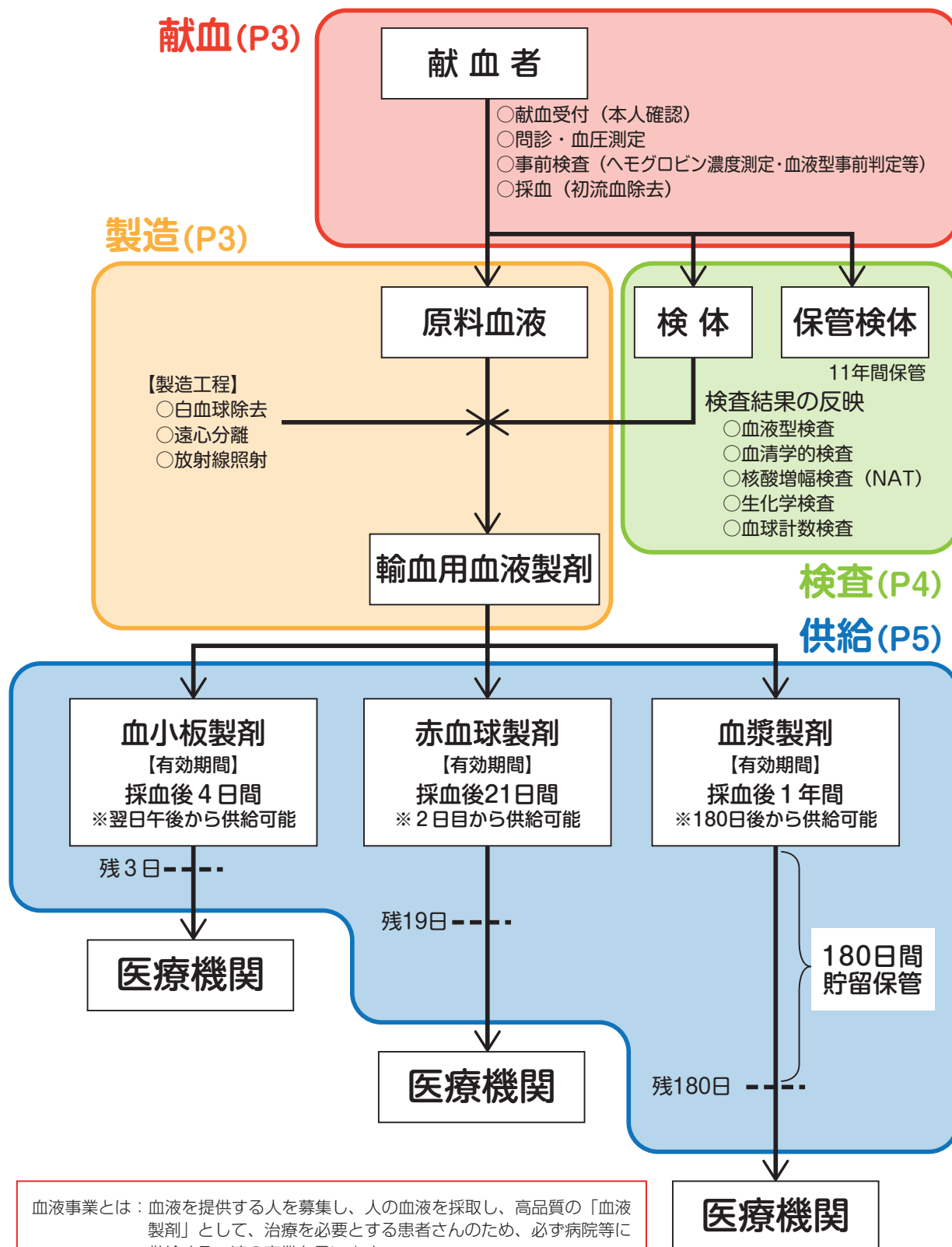
CONTENTS

献血受入れから供給まで	2
・献血、製造	3
・検査	4
・供給	5
第55回 献血運動推進全国大会	6
献血を支える活動	8
石川県赤十字血液センターの主な取り組み	
・400mL 献血及び血小板成分献血の推進	10
・献血サポーター制度	10
・献血者登録制度	10
・複数回献血クラブ「ラブラッド」	10
・緊急時の血小板成分献血への協力依頼	11
・若年層の献血推進活動	11
・栄養相談・骨髄バンクドナー	11
献血場所の紹介	
・献血バス	12
・献血ルーム ル・キューブ	12
・献血ルーム くらつき	12
献血功労者・功労団体の表彰	13
献血推進団体	13
令和元年度 献血ポスターコンクール優秀作品	14
採血基準	
・献血方法別の採血基準	15
・献血の間隔	15
血液と血液製剤について	
・献血の種類と血液製剤の種類	16
・血液の役割	17
・血液型 (A B O・R h・まれな血液・H L A)	18
・H L A 適合血小板について	18
・医薬情報活動	19
令和元年度 献血者数・血液製剤の供給状況	20
・血液製剤の供給状況	21
・地域別供給状況	22
石川県赤十字血液センターの組織	23
石川県赤十字血液センターの沿革	24
患者さんからのメッセージ・わたしたちの誓い	28

献血受入れから供給まで



献血いただいた血液は、安全性確保の検査が行われた後、輸血医療のために様々な血液製剤に形を変えて、患者さんの待つ医療機関へ供給されます。



献血

安全で責任のある献血をお願いするために、献血受付時に身分証明書などの提示をお願いし、本人確認を実施しています。

また、献血者と患者さん双方の安全を守るため、献血の基準を満たしているかどうかを医師の問診と事前採血による血液検査を実施して確認します。

① 献血受付（本人確認）



② 問診・血圧測定



③ 事前検査



④ 採血



★アフェレーシスナースが在籍！より安全・快適な環境を提供!!

日本輸血・細胞治療学会が認定する「アフェレーシスナース」とは、アフェレーシスへの正しい知識を有しており、血小板成分献血など献血いただくドナー様への的確な看護を実践し、献血の安全性向上に寄与できる看護師のことをいいます。

当センターでは令和2年3月末時点で5名在籍しておりますが、より安全かつ快適な献血環境を目指し、看護師の認定取得を積極的に進めております。

製造



フィルタ処理をして「白血球」を取り除く。
「白血球」による副作用を防止するためです。



遠心分離機にかける。



「赤血球」と「血漿」に分け、別々のバッグに分離する。



製剤別のラベルを貼る。



赤血球製剤は、副作用防止のため放射線を照射する。



コンピュータで
検査結果等と照合する。



血液製剤

検査

献血いただいた血液は、血液型検査や感染症予防のための抗原・抗体検査、献血後にお知らせする生化学検査、血球計数検査などを行います。

各種検査項目

血液型検査	ABO血液型検査、Rh血液型検査、不規則抗体検査、HLA検査(一部)
感染症関連	梅毒血清学的検査、B型肝炎ウイルス検査(HBs抗原、HBs抗体、HBc抗体)
	C型肝炎ウイルス検査(HCV抗体)、エイズウイルス検査(HIV-1、2抗体)
	HTLV-I 抗体検査、ヒトパルボウイルスB 19抗原検査
生化学検査	ALT(GPT)、γ-GTP、総蛋白、アルブミン、アルブミン対グロブリン比
	コレステロール、グリコアルブミン
血球計数検査	赤血球数、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値、平均赤血球容積
	平均赤血球ヘモグロビン量、平均赤血球ヘモグロビン濃度
	白血球数、血小板数
核酸増幅検査	B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査、E型肝炎ウイルス検査、エイズウイルス検査
その他の検査	まれな血液型、サイトメガロウイルス検査

NAT 検査



抗原・抗体検査は、ウイルスなどに感染した後、血液中に産生される抗原や抗体を検出する方法であるため、感染後しばらくは、感染していることを検査で検出できない期間(ウィンドウ・ピリオド)があります。

核酸増幅検査(NAT)は、抗原や抗体ではなくウイルスを構成する核酸(DNAまたはRNA)の一部を約1億倍に増幅しウイルスの有無を検出するため、非常に感度と特異性が高く、ウィンドウ・ピリオドの短縮を可能にします。日本赤十字社は1999年(平成11年)より、血液の安全性向上を図るうえでB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)について特に有効なNATを世界に先駆けて導入し、2014年(平成26年)8月1日からは、献血者1人分の血液ごとにNATを行う「個別NAT」を全国8カ所の検査施設で実施して、更なる安全性向上に努めています。また2020年8月5日からE型肝炎ウイルスについてもNATを開始しています。

検査成績のお知らせ

献血にご協力いただいた方の中で通知を希望される方を対象に、7項目の生化学検査成績及び8項目の血球計数検査成績をお知らせしています。これらの結果は、親展にておよそ2週間で献血者に届くように郵送されています。また献血受付時にB型肝炎検査、C型肝炎検査、梅毒検査、HTLV-I 検査の結果通知を希望された方には、異常を認めた場合、献血後1ヶ月以内に上記の通知とは別に親展にてご通知します。



供給

血液センターでは、輸血を必要としている方に安全で品質の高い輸血用血液を安定的にお届けするために、過不足のない効率的な献血を目指し、医療機関からの要請、血液在庫、献血状況の把握につとめています。

確保が難しいRh(-)やまれな血液型の輸血用血液製剤を不足なく医療機関にお届けできるよう、都道府県の枠を超えた調整を行うこともあります。

●主な供給業務は次の4段階からなっています。



保 管

輸血用血液製剤はその種類ごとに適した保管温度があります。

- 赤血球 2～6℃
- 血漿 -20℃以下
- 血小板 20～24℃



受 注

医療機関よりFAXまたは電話で受注をしています。

ここ近年、インターネットによる受注も可能になり、推進につとめています。

確認しながら
受注します。



出庫・梱包

輸血用血液製剤ごとに適した梱包容器で適正温度に保つことができるように梱包します。



厳重に出庫・梱包
しています。



供 給

24時間体制で医療機関へ輸血用血液製剤をお届けしており、緊急の要請に対しても即時に対応できるような体制を取っています。



第55回 献血運動推進全国大会



けんけつちゃん(まつち)とひゃくまんさん

石川県立音楽堂



秋篠宮皇嗣妃殿下のおことば



授与、贈呈をうけられた皆さま



献血事業用車両の寄贈



御発の際には、受賞者や発表者にお声がけをいただいた。

令和元年7月11日(木)、日本赤十字社名誉副総裁である秋篠宮皇嗣妃殿下御臨席のもと、石川県立音楽堂にて「第55回献血運動推進全国大会」が開催されました。石川県での開催は昭和46年以来48年ぶりのことでした。

大会当日は、昭和天皇記念賞と日本赤十字社有功章の授与、厚生労働大臣表彰状・感謝状、石川県知事感謝状の贈呈、献血車の寄贈、献血にまつわる体験発表などが行われました。

また、大会に先立ち、皇嗣妃殿下は石川県赤十字血液センターを御訪問され、当県の血液事業の概要、石川県学生献血推進委員会の取り組みなどを御視察されました。



献血にまつわる体験発表
和田 真由美 さん



献血にまつわる体験発表
八尾 悠生 さん



金色有功章 御授与
(金沢工業大学 学友会様)

石川県赤十字血液センター



血液センター御到着



秋篠宮皇嗣妃殿下の
血液センター訪問を出迎える皆さん



秋篠宮皇嗣妃殿下は、石川県の血液事業や献血推進の取組について血液センター所長より説明を受けられたのち、石川県学生献血推進委員会による献血セミナー(グループ討議)を御視察された。

献血を支える活動



世界献血者デー

令和元年6月14日(金)

血液という「いのちを救う贈り物」をくれる献血者の皆様に感謝するとともに、輸血が必要な患者さんのために献血が不可欠であることを知ってもらう日であり、世界各国で工夫を凝らした様々なイベントが行われています。



愛の血液助け合い運動

令和元年7月1日(月)～7月31日(水)

令和元年7月7日(日) 七夕献血キャンペーン

会場：アル・プラザ金沢、献血ルーム ル・キューブ



4月↑

3月

献血ルーム ル・キューブ 開設6周年キャンペーン

令和2年3月17日(火)～3月22日(日)

「かなざわはこまち(金沢市袋町)」に移転して6周年を迎え、日頃から献血にご協力くださる皆さまへ感謝を込めて骨盤ゆがみチェックを実施しました。



石川センターの

献血ルーム 独自のキャンペーン

●「お誕生日おめでとう」キャンペーン

献血ルームで献血いただいた方のお誕生月に「バースデーカード」をお送りし、さらに献血いただいた方に記念品をお渡しします。

● 団体献血

部活やサークル、クラスの仲間、5人以上で献血いただいた方に清涼飲料水2ℓペットボトル1ケースをお渡しします(学生限定)。

● つづけて献血

献血離れが深刻な若年層(10代・20代)の初回献血者に引換券を配布し、次回献血時に記念品をお渡しします。

● 親子献血

献血離れが深刻な若年層(10代・20代)の子を持つ献血者や10代・20代の献血者に両親と来ていただくよう引換券を配布し、次回献血時に親子で献血いただいた方に記念品をお渡しします。



「はたちの献血」キャンペーン

令和2年1月1日(水)～2月29日(土)

献血者が減少しがちな冬期において、輸血用血液を安定的に確保するため、新たに成人を迎える「はたち」の若者をはじめとする幅広い年齢層の皆様に献血に関する理解と協力をお願いする運動です。



なぜ？なに？おしえて！献血！ ～親子で学ぶ献血教室～

令和元年7月20日(土)・27日(土)・8月3日(土)

県内の小学生に献血について知ってもらうため、保護者と一緒に血液について学び、献血を疑似体験していただくプログラムです。「血液はかせ(医師・薬剤師)」からのレクチャーや、献血バスでの模擬献血、献血運搬車や供給部門の見学などを行いました。

令和元年度は127組295名が参加しました。



若年層向け献血セミナー事業

将来の輸血医療を支える若年層に献血の基礎知識や必要性を伝え、これからの献血協力や献血推進ボランティア活動のきっかけにしておようと、県内の各学校に血液センター職員や学生献血推進ボランティアが伺い、献血セミナーを実施しています。

令和元年度は25校で計29回実施し、2,451名の方が聴講していただきました。



東海北陸ブロック統一サマー献血キャンペーン

令和元年8月18日(日)

会場:アピタ松任店、献血ルーム ル・キューブ
夏場の血液が不足しがちな時期に、東海北陸7県の学生献血推進ボランティアが各県で献血を呼びかけるキャンペーンです。7県の学生が力を合わせて、バスルアートや献血記念品など様々な統一企画を実施し、街頭で献血を呼びかけ、多くの皆さんにご協力いただきました。



献血広報活動



年末年始愛の血液助け合い運動

令和元年12月20日(金)～令和2年1月19日(日)

献血者の確保と年末年始の献血受入体制の強化を目指すとともに、広く県民に献血思想の普及を図る運動です。

令和元年12月8日(日)
全国学生クリスマス
献血キャンペーン2019
会場:アピタ松任店、
献血ルーム
ル・キューブ



複数回献血協力者確保事業

令和元年9月18日(水)

「献血Web会員サービス『ラブラッド』」では、会員登録の推進と継続的なご協力、また将来の輸血医療を支える若年層(10代～30代)献血者に積極的な参加をお願いするために、映画試写会イベントを実施しています。今年度は、映画「HELLO WORLD」を上映し、200名の方にご参加いただきました。

上映前には、血液センター職員から、献血を取り巻く課題、特に若い世代の献血協力が減少している現状についてお話しし、来場された皆さんに継続的な献血協力をお願いしました。



石川県赤十字献血センターの主な取り組み



400mL 献血及び血小板成分献血の推進

令和元年度において、医療機関の要望に応えるために400mL献血を推進した結果、94.0%となりました。全国における400mL献血率は、95.9%で、今後更に400mL献血者を増加させるよう推進し、医療機関のニーズに応えていかなければいけません。

血小板製剤の供給量については、令和元年度は約7.6万単位の供給となりました。急な増加傾向を示すこともあるため、複数回献血クラブ「ラブブラッド」会員や血小板献血登録者の募集に努め、血液の安定確保と安定供給に努めています。

献血サポーター制度

日本赤十字社では、献血にご協力いただける企業・団体の皆様、献血会場の提供にご協力いただける企業・団体の皆様を広く募集しています。

●献血サポーターとは…

医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血に積極的に協力していただける企業・団体のことを「献血サポーター」と言います。

私たちは献血をサポートしています。

●ロゴマークの配布

「献血サポーター」となった企業・団体には、「献血サポーター」ロゴマークを日常の企業活動等において活用していただくことができます。

●献血サポーターへの参加

国民の医療を支える献血のさらなる推進を図っていただき、また、社会貢献活動である献血活動を国民に広くPRする機会として「献血サポーター」にご参加ください。



お問い合わせ 石川県赤十字血液センター ☎076-254-6372
献血サポーター ホームページ <https://www.ken-sapo.jp>

献血者登録制度

「患者さんが必要とされている血液」を安定的にお届けするため、血液センターの要請にお応えいただける方に登録していただく制度です。

特にRh（-）、まれな血液型の方には、血液センターより登録のご案内を郵送させていただきますので、登録をお願いいたします。

●献血者登録状況（令和2年3月末現在）

	計	内 訳	(人)
登録者	58,996	Rh(+)型	56,560
		Rh(-)型	789
		不明(※)	1,647
Web会員 (再掲)	11,284	Rh(+)型	10,933
		Rh(-)型	111
		不明(※)	240

※不明：検査にて血液型が確定不能、または検査データがない献血者

複数回献血クラブ「ラブブラッド」

平成18年に開設された「複数回献血クラブ」は会員サービスを拡充させ、会員サイトをリニューアルし「ラブブラッド」として運用開始しました。

複数回献血クラブ「ラブブラッド」は、安全な血液を安定的に確保するために、年間で複数回の400mL献血や成分献血にご協力いただける方を募集しています。

登録いただいた方（Web会員）には、血液センターから携帯電話、スマートフォン、パソコンの電子メールやLINEで、緊急時の「献血のお願い」や「献血に関するお知らせ」を送信します。

また、ラブブラッド会員には、「献血の検査結果がWebで閲覧できる」、「献血でポイントがたまる」、「献血の予約ができる」など会員特典があります。

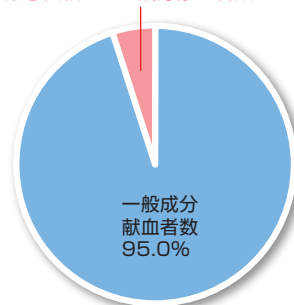
緊急時の血小板成分献血への協力依頼

医療機関からの日々変動する要望に対し、不足が生じる恐れがある場合等、緊急時には様々な方法で献血協力を依頼し、ご協力いただいております。

その中には、ご連絡当日にご対応いただいている場合も多くあり、成分献血に登録していただいている登録者の皆様や複数回献血クラブ会員様の献血協力に対する高い知識と、積極的な応諾によりご協力いただいております。

さらに、協力企業・団体様にも仕事中に献血していただくお時間をいただいております。

緊急依頼による成分献血者数 5.0%



若年層の献血推進活動

石川県学生献血推進委員会



石川県学生献血推進委員会

●石川県学生献血推進委員会とは

平成5年に、金沢経済大学（現 金沢星稜大学）の学生が、大学を超えて献血推進に取り組もうと、他大学にも協力を呼びかけ、県内14の大学・短期大学等の賛同を得て発足しました。年2回の総会や各献血キャンペーン（七夕、サマー、クリスマス等）をとおして広く県民に献血をPRし、協力を呼びかけています。

●石川県学生献血推進委員会 主な活動（令和元年度）

- 5月 第1回石川県学生献血推進委員会総会
全国学生献血推進実行委員会
- 6月 東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会 第1回総会
世界献血者デーキャンペーン
- 7月 七夕献血キャンペーン
「なぜ？なに？おしえて！献血～親子で学ぶ献血教室～」
- 8月 東海北陸ブロック統一学生サマー献血キャンペーン 2019
全国学生献血推進代表者会議
- 9月 東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会 第2回総会（リーダー研修）
- 12月 全国学生クリスマス献血キャンペーン 2019
- 2月 東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会 第3回総会
第2回石川県学生献血推進委員会総会



第1回総会



親子献血教室 運営ボランティア



献血キャンペーン

石川県学生献血推進連絡会

石川県学生献血推進委員会および委員会に参加する学生献血推進ボランティアの活動をサポートし、若者へのさらなる献血推進を行うために、ご賛同いただいた大学・短期大学等の教職員の方々と、石川県学生献血推進アドバイザー、石川県赤十字血液センターによって構成しています。



献血者からのメッセージを医療機関に贈呈

栄養相談・骨髄バンクドナー



石川県栄養士会に所属する管理栄養士がヘモグロビン濃度の低い方等に栄養相談を行い、献血できるようにアドバイスしてくれます。

栄養相談 ● 原則毎月第3土曜日 14時～16時

ボランティア団体「はとの会」に所属するボランティアが骨髄バンクドナーについて懇切丁寧に説明してくれます。

骨髄バンクドナー登録 ● 毎週日曜日 13時50分～17時



献血場所の紹介



献血バス



北は珠洲市・輪島市などから南は加賀市・白山市など、石川県全域の役所・企業・学校・ショッピングセンター等に献血バスで伺って、みなさまに献血をお願いしています。当センターにはバスが4台あり、病院からの要望に合わせて毎月平均約30台前後稼働させています。献血バスでは400mL献血等の全血献血の受付を行っておりますので、バスをお見かけの際は是非ご協力ください。



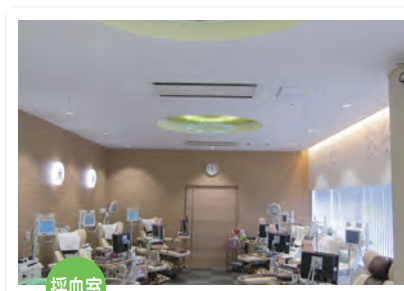
〔バス〕		(人)		
全 血 献 血		成 分 献 血		合 計
200mL	400mL	PPP	PC	
823	19,181	－	－	20,004

令和元年度 献血者数実績

献血ルーム ル・キューブ

「木漏れ日あふれる玉手箱」をコンセプトに、黄緑色を基調とし、外の光が入り明るいイメージとなっており、献血にご協力いただける方はもちろん、お子様も一緒にくつろげるやさしい雰囲気の献血ルームとして、平成26年3月に移転オープンしました。

ゆったりと広い待合室やキッズルームを備え、より一層、皆様に快適で安心して献血いただけるように努めています。



採血室

清潔感と開放感にあふれた室内



入口

スタイリッシュな空間を演出



待合室

快適性を追求して献血者の負担軽減

〔ル・キューブ〕				(人)
全 血 献 血		成 分 献 血		合 計
200mL	400mL	PPP	PC	
753	4,174	5,389	2,843	13,159

令和元年度 献血者数実績

献血ルーム くらつき

昭和55年9月、石川県赤十字血液センター（母体）として採血業務が開始され、平成28年10月、「献血ルーム くらつき」に名称変更して、成分献血、全血献血の受け入れをしています。

石川県庁に近い交通の便利な場所にあり、十分な駐車場を確保しています。

皆様のご協力をお待ちしております。



採血室



献血ルーム くらつき(外観)



〔くらつき〕				(人)
全 血 献 血		成 分 献 血		合 計
200mL	400mL	PPP	PC	
175	4,053	3,650	4,111	11,989

令和元年度 献血者数実績

献血功労者・功労団体の表彰



日時: 令和元年7月11日(木) 場所: 石川県立音楽堂

昭和天皇記念献血推進賞

富士通株式会社

昭和天皇記念学術賞

前田 義章

日本赤十字社金色有功章

(代表)金沢工業大学校友会(全国6,643件)

日本赤十字社銀色有功章

(代表)城東建設株式会社(全国9,758件)

厚生労働大臣表彰状

(代表)金沢西ライオンズクラブ

アール・ビー・コントロールズ株式会社

金沢南ライオンズクラブ(全国95件)

厚生労働大臣感謝状

(代表)のと共栄信用金庫

アビオシティ加賀

石川サンケン株式会社 町野工場

石川日野自動車株式会社

内浦ロータリークラブ

小松青雲ライオンズクラブ

松任先端技術団地運営協議会

松本工業団地運営協議会(全国303件)

石川県知事感謝状

(代表)学校法人石川県理容美容専門学校
(石川県内団体7件、個人72名、8市町)

日赤支部長感謝状金色枠 献血団体4団体(活動継続年数10年以上)

一般社団法人珠洲建設業協会

セントラルメディカル株式会社

株式会社東振テクニカル

清水建設株式会社北陸支店

日赤支部長感謝状金色枠 献血推進団体1団体(活動継続年数10年以上)

株式会社バロー羽咋店

支部長感謝状銀色枠 献血団体3団体(活動継続年数5年以上)

いしかわ総合スポーツセンター

社会医療法人財団董仙会恵寿金沢病院

北陸コカ・コーラボトリング株式会社
石川マーケットサービスセンター

支部長感謝状銀色枠 献血推進団体2団体(活動継続年数5年以上)

津幡町赤十字奉仕団

内灘町赤十字奉仕団



献血推進団体



石川県医薬品配置協議会
石川県学生献血推進委員会
石川県青年赤十字奉仕団
石川県内各赤十字奉仕団
石川県婦人団体協議会
石川県理容生活衛生同業組合 金沢支部
国際ソロプチミスト金沢-くろゆり
天理教石川教区
立正佼成会小松教会
日清食品
ライオンズクラブ
金沢ライオンズクラブ
金沢中央ライオンズクラブ
金沢西ライオンズクラブ
金沢菊水ライオンズクラブ
金沢兼六ライオンズクラブ
内灘ライオンズクラブ

金沢城北ライオンズクラブ
高松ライオンズクラブ
かほく中央ライオンズクラブ
羽咋ライオンズクラブ
七尾ライオンズクラブ
穴水ライオンズクラブ
輪島ライオンズクラブ
中能登ライオンズクラブ
田鶴浜ライオンズクラブ
加賀ライオンズクラブ
小松ライオンズクラブ
能美ライオンズクラブ
小松中央ライオンズクラブ
小松青雲ライオンズクラブ
松任ライオンズクラブ
美川ライオンズクラブ
野々市ライオンズクラブ

鶴来ライオンズクラブ
金沢東ライオンズクラブ
金沢南ライオンズクラブ
金沢尾山ライオンズクラブ
金沢ひかりライオンズクラブ
金沢伏見ライオンズクラブ
金沢みどりライオンズクラブ
金沢パークライオンズクラブ
ロータリークラブ
金沢東ロータリークラブ
加賀ロータリークラブ
羽咋ロータリークラブ
能都ロータリークラブ
珠洲ロータリークラブ
内浦ロータリークラブ

(順不同)

令和元年度 献血ポスターコンクール優秀作品



令和元年度は石川県内26校、228人の出展がありました。

金賞1名、銀賞3名、銅賞6名の入賞作品を献血ルーム ル・キューブにおいて令和2年1月15日から1月21日まで展示しました。



能登町立松波中学校3年
大鷲 晴香



石川県立金沢錦丘中学校3年
針谷 柚月



七尾市立七尾中学校1年
佐波 夢徠



七尾市立中島中学校2年
山岸 穂乃実



石川県立金沢錦丘中学校3年
伊藤 愛莉



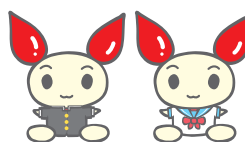
能美市立辰口中学校2年
山坂 優綺



白山市立松任中学校2年
池田 祥久



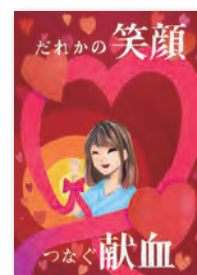
白山市立松任中学校2年
古瀬 唯愛



すばらしいですね!



白山市立松任中学校1年
酒井 祐子



白山市立松任中学校1年
中野 真菜

採血基準



献血方法別の採血基準

献血いただく方の健康を守るために、さまざまな基準を設けています。

項 目 \ 献血の種類		全 血 献 血		成 分 献 血	
		200mL 献血	400mL 献血	血漿成分献血	血小板成分献血
1 回の献血量	男女共通	200mL	400mL	600mL 以下 (循環血液量の12%)	
年 齢	男 性	16歳～69歳※ ¹	17歳～69歳※ ¹	18歳～69歳※ ¹	18歳～69歳※ ¹
	女 性	16歳～69歳※ ¹	18歳～69歳※ ¹	18歳～69歳※ ¹	18歳～54歳
体 重	男 性	45kg 以上	50kg 以上	45kg 以上	
	女 性	40kg 以上	50kg 以上	40kg 以上	
最 高 血 圧	男女共通	90mmHg以上 180mmHg未満			
最 低 血 圧	男女共通	50mmHg以上 110mmHg未満			
脈 拍	男女共通	40回/分以上 100回/分以下			
体 温	男女共通	37.5℃未満			
血 色 素 量 (ヘモグロビン濃度)	男 性	12.5g/dL 以上	13.0g/dL 以上	12.0g/dL 以上	
	女 性	12.0g/dL 以上	12.5g/dL 以上	12.0g/dL 以上 (赤血球指数が標準域にある 場合は11.5g/dL 以上)	12.0g/dL 以上
血 小 板 数	男女共通	—	—	—	15万/μL以上 60万/μL以下
1 年※ ² に献血できる回数 (1年は52週として換算)	男 性	6回以内	3回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	
	女 性	4回以内	2回以内		
1 年※ ² に献血できる 総 献 血 量 (1年は52週として換算)	男 性	200mL献血と400mL献血を 合わせて1,200mL以内		—	—
	女 性	200mL献血と400mL献血を 合わせて800mL以内		—	—

献血の間隔



次回の献血	今回の献血	全 血 献 血		成 分 献 血	
		200mL 献血	400mL 献血	血漿成分献血	血小板成分献血※ ³
200mL 献血	男女とも4週間後の 同じ曜日から 献血できます	男女とも4週間後の 同じ曜日から 献血できます	男性は12週間後・女性は 16週間後の同じ曜日から 献血できます	男女とも2週間後の同じ曜日から 献血できます	
400mL 献血					
血 漿 成 分 献 血		男女とも8週間後の同じ 曜日から献血できます			
血 小 板 成 分 献 血					

採血基準は、献血にご協力いただける方の健康を保護するために、国が定めたもので、採血の実施は、問診結果等を踏まえて総合的に判断します。

※¹ 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限られます。

※² 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

※³ 血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。

ただし、4週間に4回実施した場合には次回まで4週間以上あけてください。

血液と血液製剤について



献血の種類と血液製剤の種類

献血には、血液すべての成分をいただく「全血献血」と血液中の必要な成分（血小板や血漿）だけをいただく「成分献血」の2種類があります。全血献血は、200mLまたは400mLの血液を採血バッグに採取します。成分献血は、成分採血装置を用いてまず全血を採血し、その中から血漿や血小板を採取して赤血球は献血者の方へ返す方法です。こうして献血された血液は、赤血球・血小板・血漿などの輸血用血液製剤として使用されるほか、血漿中のタンパク質を抽出・精製した血漿分画製剤の原料として使用されます。

●輸血用血液製剤



●血漿分画製剤

「血漿分画製剤」は、人の血液の血漿から、治療に必要な血漿タンパク質を種類ごとに分離精製したもので、主なものにアルブミン製剤、免疫グロブリン製剤、血液凝固因子製剤があります。国内製薬企業3社を通じ医療機関に供給されています。



血液の役割

成人で体重の約1/13を占める血液は、人体の機能を維持するために欠かせないものです。

血液と抗凝固剤を試験管に入れしばらく放置すると、大きく分けて二つの層に分離しますが、上層に浮かんでくる液体は血漿です。下層に沈殿してくるのが血球です。



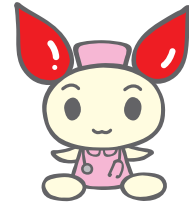
血漿(55%)

水分(91%)・固形成分(9%)

血球(45%)

赤血球、白血球、血小板

※白い部分はバフィーコート(白血球と血小板の層)といい、血液製剤では大部分が取り除かれています。



赤血球

● 性状

血液1mm³に成人男子で約500万個、成人女子で約450万個、幼児で約690万個。直径約10/1000mmの円盤型ですが、両面にくぼみがあるため、ドーナツのような形をしています。骨髄でつくられて、古くなると脾臓で壊されますが、その間の寿命は約120日間です。

● 働き

肺で酸素を取り込み、体の各部に運搬します。



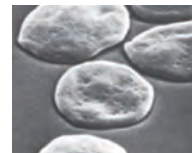
血小板

● 性状

血液1mm³に約20~40万個。直径約2/1000mmの円盤型の細胞です。体内での寿命は10日間程度です。

● 働き

ケガなどで血管が傷ついて出血したとき、傷ついた部分を見つけて張りつき、周りの他の血小板や凝固因子を引き寄せて、血栓を作り出血を止めます。



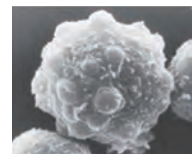
白血球

● 性状

血液1mm³に成人で平均7,500個。顆粒球、単球とリンパ球からなります。顆粒球は好中球、好酸球、好塩基球の3種類、リンパ球はT細胞、B細胞、NK細胞の3種類に分けられます。単球は血管から組織に入り病原体を食べるマクロファージ(大食細胞)に変わります。

● 働き

病原体やガン細胞を直接、あるいは抗体を作って間接的に攻撃し、病気から体を守る働きをしています。輸血において白血球が関与する副作用としては、発熱反応・TRALI・CMV感染症などがあります。



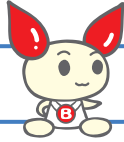
血漿

● 性状

91%は水分で、残りの約9%はアルブミン、グロブリン、血液凝固因子などのたんぱく質です。この他に無機塩類、糖質、脂質を含みます。

● 働き

血漿は全身をめぐる、栄養素やイオン、水、ホルモンなどを運び、不要物や余分な水を持ち帰ります。また、体温調節作用、体の保護(アルブミンによる組織の適正な水分維持など)、止血作用(血小板と共に凝固因子が働く)などの役割をします。



血液型

血液型というと赤血球の型が代表的ですが、白血球や血小板にも血液型があります。輸血する際には、ＡＢＯ血液型、Ｒｈ血液型を合わせることが一般的ですが、その他の血液型を合わせることが必要となる場合もあります。

ＡＢＯ血液型

最も良く知られた赤血球の血液型で、Ａ型の人はＡ型物質を持ち、Ｂ型の人はＢ型物質を持っています。ＡＢ型の人は両方の型物質を持ち、どちらも持っていないとＯ型になります。ＡＢＯ血液型は赤血球以外にも多くの組織、細胞に存在します。

Ｒｈ血液型

Ｒｈ血液型は赤血球だけに存在し、Ｄ、Ｃ、ｃ、Ｅ、ｅの５種類の抗原があります。一番多い人で５種類全部、一番少ない人でもＣかｃのどちらか１つと、Ｅかｅのどちらか１つのあわせて２種類の抗原を持っています。このうちＤ抗原を持たない人をＲｈマイナス型といいます。まれにＤ抗原しか持たない人（Ｄ、パーディーパー型）や抗原をまったく持たない人（Ｒｈ null型）がいます。

まれな血液型

まれな血液型とは、１００人に１人以下でしか見られない血液型のことをいい、型によっては千人に１人、あるいは何万人に１人という型もあります。輸血を必要としている人がまれな血液型で、しかもその抗体をもっているときは、同型のまれな血液型が必要となりますので、あらかじめ血液センターで冷凍保存している同型の血液を使用したり、同型の血液をもつ方に献血をお願いするなどして対応しています。しかし一度に必要な量を集めることは非常に困難なため、まれな血液型の献血者には輸血に備えるために登録者になっていただくようお願いしています。

ＨＬＡ血液型

ＨＬＡはヒト白血球抗原（Human Leukocyte Antigen）の略で、Ａ、Ｂ、Ｃ、ＤＲ、ＤＱ、ＤＰに大きく分けられ、それぞれの中に多くの型があります。ＨＬＡは白血球だけでなく、赤血球を除く、多くの組織、細胞に存在し、健康な細胞と病気の細胞、あるいは自分の細胞と他人の細胞を区別する重要な働きがあります。このため、骨髄移植においては他人の細胞であると区別されないように、ＨＬＡ型、とくにＡ、Ｂ、Ｃ、ＤＲ型を厳密に合わせる必要があります。また、血小板を輸血した場合、ＨＬＡ抗体によって輸血した血小板が壊れてしまうことがあり、このような場合にはＨＬＡ型を合わせて輸血することが必要です。

ＨＬＡ適合血小板について

●血小板製剤

血小板製剤は血小板成分献血から製造されています。この製剤は輸血を受ける患者さんにとって副作用が少なく効果が高い製品となっています。

●ＨＬＡ適合血小板の輸血効果

血小板輸血を頻回に行うとＨＬＡ抗原や血小板抗原に対して抗体ができてきます。その抗体によって血小板が破壊されるため、次に血小板を輸血しても増えない状態となります。このような時にＨＬＡ適合血小板は使用されます。

医療情報活動

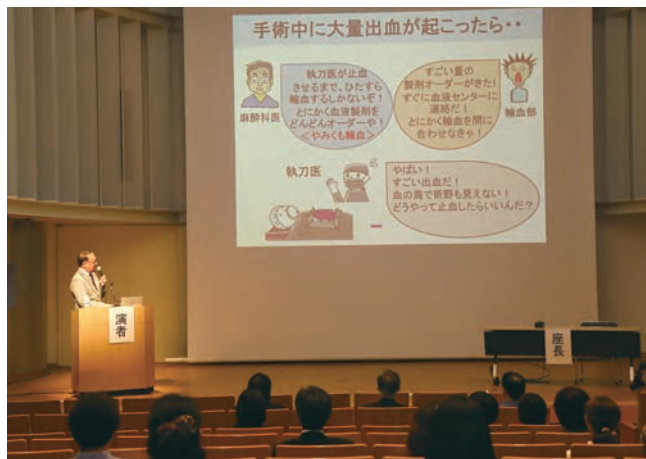
医療機関対応

血液センターでは、医薬情報担当者が安全な輸血のための情報提供及び情報収集を行っております。また、それらの一環として、輸血用血液製剤の適正使用・正しい取扱い方法などの説明会を医療機関の要望に応じて開催しています。



石川県合同輸血療法委員会

石川県では平成23年度に合同輸血療法委員会が発足し、輸血医療の適正化を目指して医療機関、石川県及び血液センターの3者が「チーム石川」として実効性の高い活動を行ってきました。血液センターは事務局として委員会の運営に協力しています。各種委員会では、石川県内の輸血を実施している医療機関へのアンケート調査解析をはじめ、遠隔地での講演会の開催や、医療機関を訪問し輸血関連の相談・情報共有を実施しています。



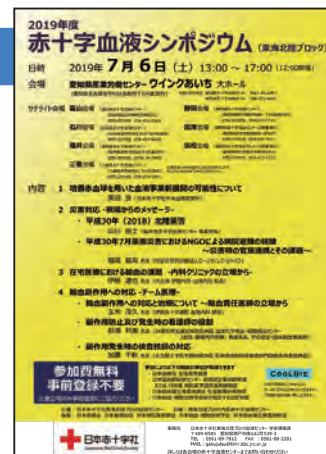
加賀講演会風景

赤十字血液シンポジウムサテライト会場運営

輸血医療にかかわる医療関係者を対象に毎年愛知県で行われているシンポジウムについて、平成28年度から東海北陸ブロック管内の血液センターでインターネットを利用したサテライト中継を始めました。石川県赤十字血液センターでも、愛知県まで足を運べない県内の医療関係者の皆様のためにサテライト会場を設置しています。

令和元年度は愛知県の本会場のほか、サテライト会場が全国14か所に設置され、全会場あわせて825名、石川サテライト会場では55名の参加者が講演を聴講しました。

皆様の参加をお待ちしております。



シンポジウム案内



愛知会場の様子

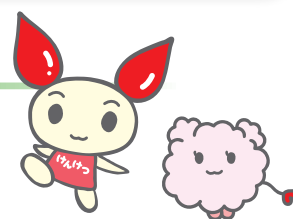


石川会場の様子

令和元年度 献血者数・血液製剤の供給状況



令和元年度 献血者数：45,152人



石川県

● 種類別献血率の推移

種類別	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)
200mL 献血	2,178人	4.9%	1,878人	4.4%	1,839人	4.4%	1,784人	4.2%	1,751人	3.9%
400mL 献血	27,001人	60.9%	25,712人	60.3%	25,386人	60.5%	25,610人	60.2%	27,408人	60.7%
成 分 献 血	15,187人	34.2%	15,037人	35.3%	14,725人	35.1%	15,146人	35.6%	15,993人	35.4%
合 計	44,366人	100%	42,627人	100%	41,950人	100%	42,540人	100%	45,152人	100%

● 年代別献血率の推移

年齢別	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)
20歳未満	2,018人	4.5%	1,882人	4.4%	2,133人	5.1%	2,520人	5.9%	2,760人	6.1%
20～29歳	6,965人	15.7%	6,439人	15.1%	6,392人	15.2%	6,103人	14.3%	6,355人	14.0%
30～39歳	8,331人	18.8%	7,623人	17.9%	7,324人	17.5%	7,218人	17.0%	7,265人	16.1%
40～49歳	13,641人	30.7%	13,401人	31.4%	12,506人	29.8%	12,530人	29.5%	13,172人	29.2%
50～59歳	9,764人	22.0%	9,695人	22.7%	9,790人	23.3%	10,250人	24.1%	11,238人	24.9%
60歳以上	3,647人	8.2%	3,587人	8.4%	3,805人	9.1%	3,919人	9.2%	4,362人	9.7%
合 計	44,366人	100%	42,627人	100%	41,950人	100%	42,540人	100%	45,152人	100%

● 男女別献血率

性別	令和元年度	
	人 数	比率(%)
男	32,951人	73.0%
女	12,201人	27.0%
計	45,152人	100%

● 施設別献血率

施設	令和元年度	
	人 数	比率(%)
献血ルームくらつき	11,989人	26.6%
献血ルームルキューブ	13,159人	29.1%
移動献血車	20,004人	44.3%
合 計	45,152人	100%

● 職業別献血率

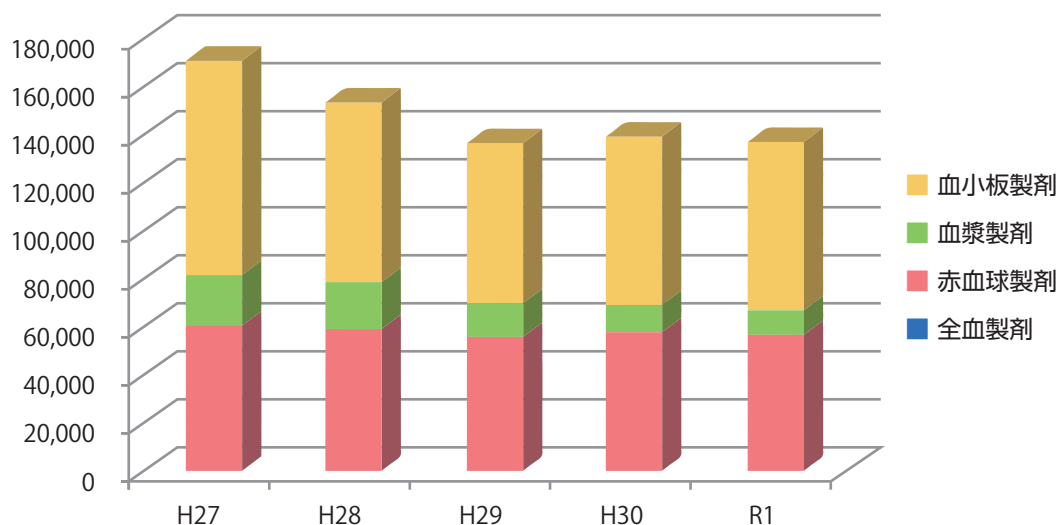
職業別	令和元年度	
	人 数	比率(%)
公 務 員	6,278人	13.9%
会 社 員	26,545人	58.8%
学 生	4,671人	10.3%
そ の 他	7,658人	17.0%
合 計	45,152人	100%

● 献血できなかった割合

不適格内容	令和元年度	
	人 数	比率(%)
血色素不足	2,167人	38.7%
血圧異常	316人	5.6%
服 薬	644人	11.5%
問診該当①	243人	4.3%
問診該当②	752人	13.4%
事前検査	37人	0.7%
そ の 他	1,439人	25.7%
合 計	5,598人	100%

血液製剤の供給状況

輸血用血液製剤(年度別)

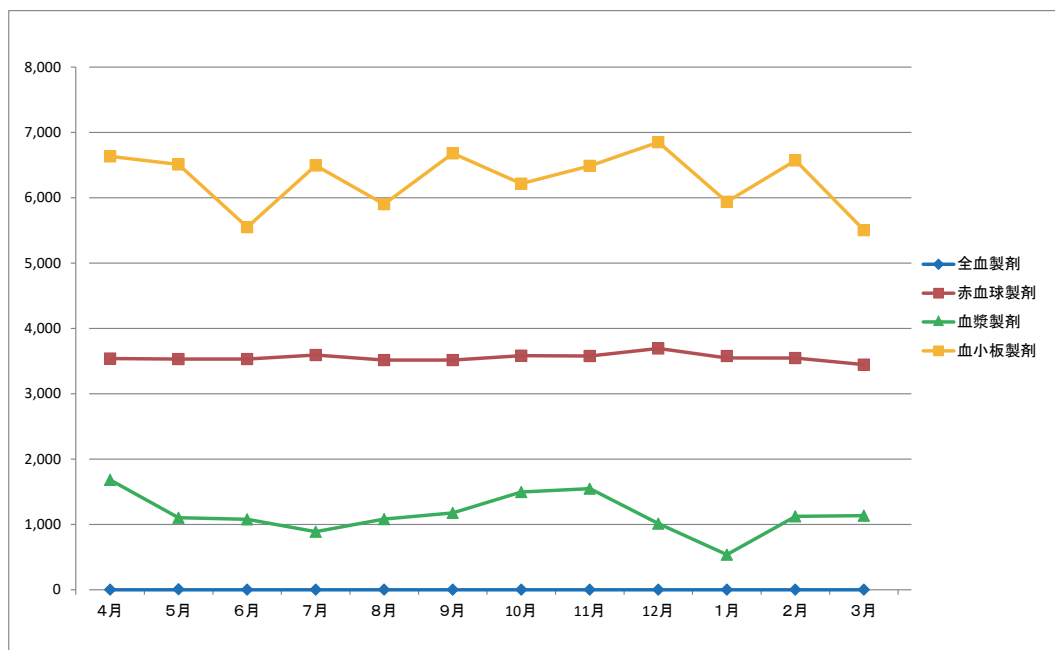


(単位)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
全血製剤	6	2	0	0	0
赤血球製剤	50,558	48,607	44,557	43,619	42,873
血漿製剤	21,741	21,028	16,063	16,257	14,445
血小板製剤	89,536	75,060	65,740	72,935	75,606
計	161,841	144,697	126,360	132,811	132,924

※1単位とは200mL献血の血液から造られる、輸血用血液製剤の量のことをいいます。

輸血用血液製剤(令和元年度月別)

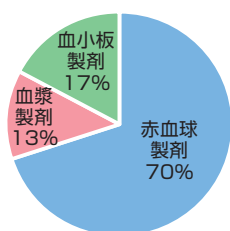


(単位)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全血製剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
赤血球製剤	3,641	3,543	3,553	3,608	3,496	3,473	3,644	3,679	3,703	3,525	3,590	3,418	42,873
血漿製剤	1,829	1,197	1,132	998	1,104	1,202	1,434	1,571	1,091	647	1,165	1,075	14,445
血小板製剤	6,790	6,570	5,695	6,465	5,930	6,685	6,166	6,435	6,900	5,950	6,590	5,430	75,606
計	12,260	11,310	10,380	11,071	10,530	11,360	11,244	11,685	11,694	10,122	11,345	9,923	132,924

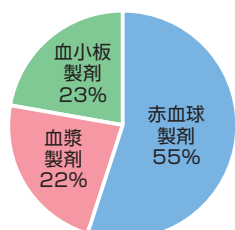
地域別供給状況

【供給本数構成比】



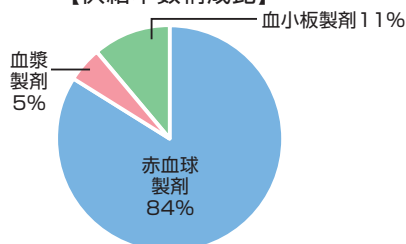
能 登

【供給本数構成比】

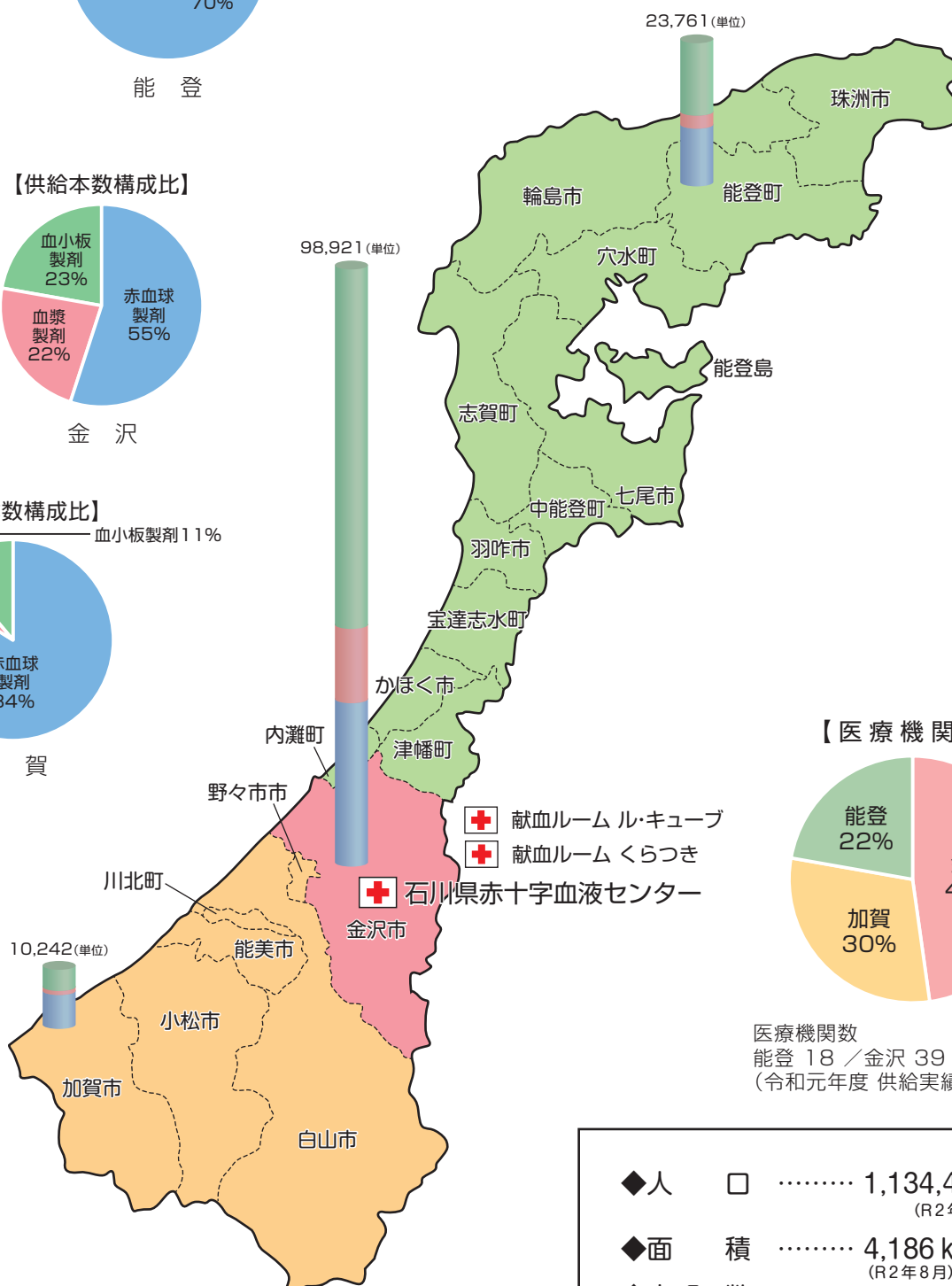


金 沢

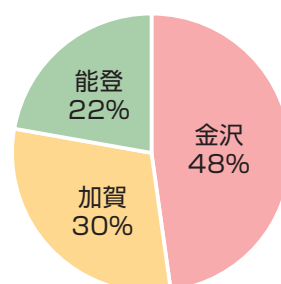
【供給本数構成比】



加 賀



【医療機関数】



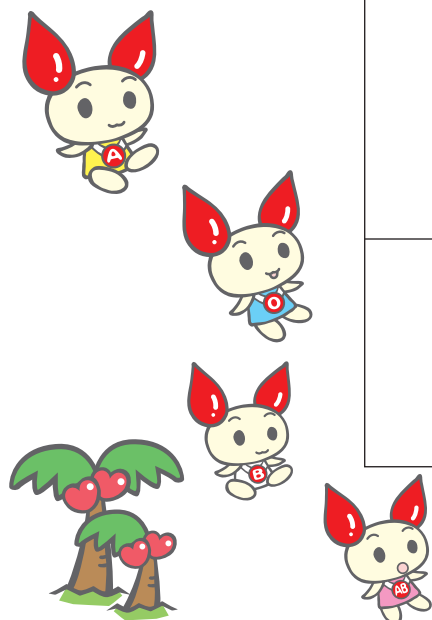
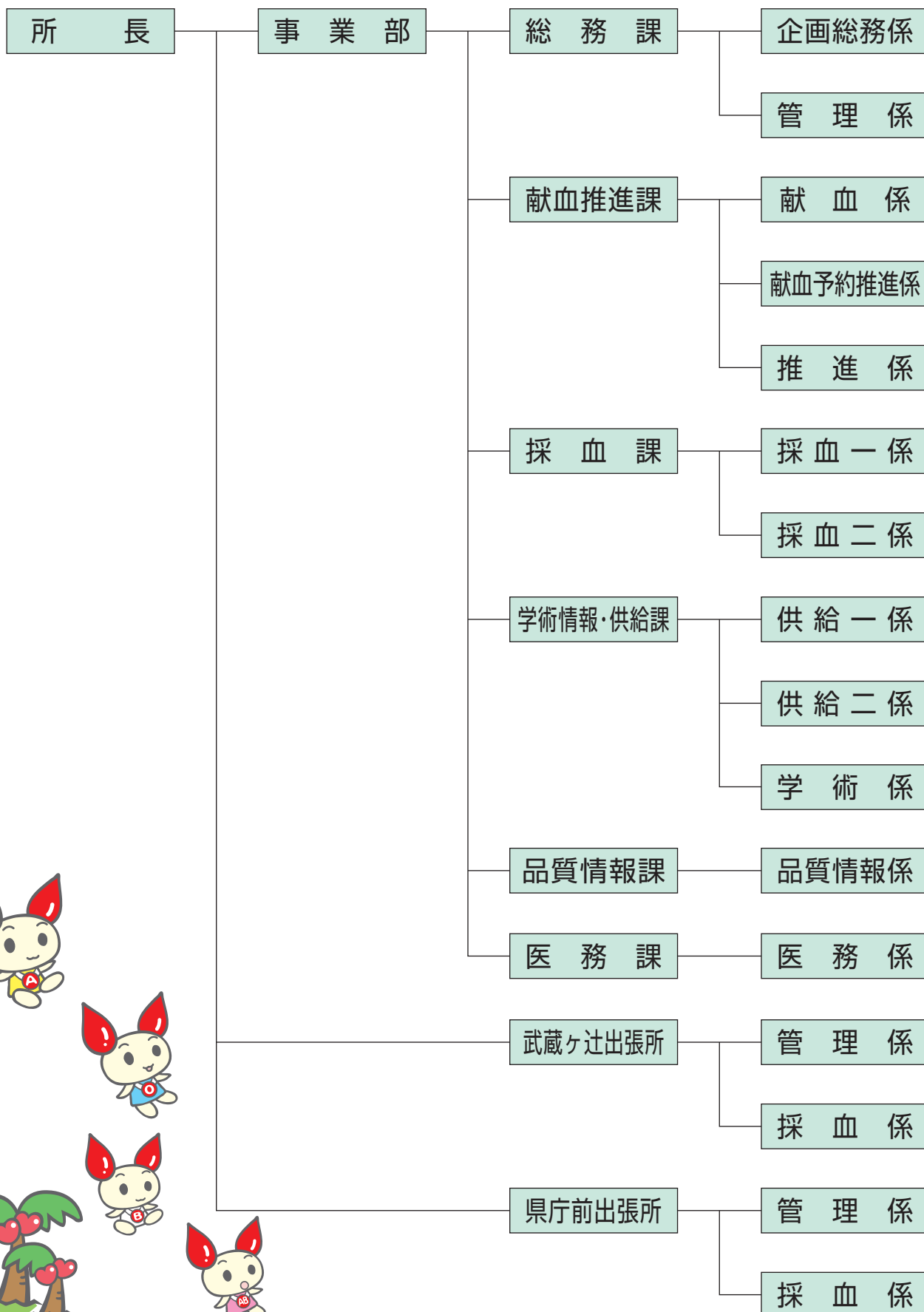
医療機関数
能登 18 / 金沢 39 / 加賀 25
(令和元年度 供給実績に基づく数)

◆人	□	1,134,411 人
		(R2年8月)
◆面	積	4,186 km ²
		(R2年8月)
◆市 町 数		(R2年8月現在)
	市	11 市
	町	8 町

石川県赤十字血液センターの組織



令和2年3月31日現在



石川県赤十字血液センターの沿革



- 昭和40年 1月 移動献血車「さちしお1号」を購入し、血液事業を開始
(財)北陸血清製造所に献血血液の保存・検査・供給を委託
第1回集団献血(美川町青年団36名)
- 40年 3月 第1回石川県献血推進協議会を開催
- 41年 7月 輪島市において献血者1万人目達成
- 9月 第1回石川県献血推進大会を開催(石川県婦人会館)
Rhマイナス血液型友の会「さちしお会」結成
- 42年 9月 赤十字血液センターに採血所を設置
都道府県の赤十字血液センター間で保存血液の需給調整を開始
- 43年 3月 小松出張所(採血所)を市立小松総合病院に設置
- 6月 ABO式血液型無料判定を実施
- 8月 穴水出張所(採血所)を公立穴水中央病院に設置
- 9月 赤十字血液センターが(財)北陸血清製造所から保存血液の検査業務を引継
- 45年 1月 七尾出張所(採血所)を公立能登総合病院に設置
- 9月 美川町において献血者10万人目達成
- 46年 4月 赤十字血液センターが(財)北陸血清製造所から保存血液の供給を全面的に引継(直配一貫制に移行)
- 7月 第7回献血運動推進全国大会が石川県で開催(金沢市観光会館)
- 51年 5月 血液成分製剤の製造を開始
- 55年 3月 金沢市において献血者50万人目達成
- 9月 赤十字血液センターを金沢市南新保町地内
(現県庁前出張所所在地)に新築移転
- 57年 4月 血液生化学検査(6項目)の成績の全員通知を開始
献血手帳の供給記録欄の廃止
- 58年10月 穴水出張所(採血所)廃止
- 11月 献血者登録制度発足
- 61年 3月 赤十字血液センター増改築完成
- 4月 400mL献血、成分献血を開始
- 6月 コンピューターシステムの導入
- 11月 片町出張所「献血ルームラブロ」を設置
(開設時全血献血4ベッド
⇒全血献血2ベッド、成分献血6ベッド)
HIV-1抗体検査、HTLV-1抗体検査を開始
- 12月 金沢市において献血者100万人目達成
バーコードラベルによるエイズチェック開始



赤十字血液センター 新築移転



献血ルームラブロ

平成元年 4 月	小松出張所 (採血所) 廃止
7 月	出張での成分献血開始 (事業所に成分採血装置を持込み)
11 月	HCV抗体検査、HBc抗体検査を開始
2 年 1 月	七尾出張所 (採血所) 廃止
2 年10月	片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化 (全血献血2ベッド⇒3ベッド、成分献血6ベッド⇒9ベッド)
3 年 1 月	赤十字血液センター採血所の機能強化 (土曜日献血の実施)
9 月	小松市において献血者150万人目達成
11 月	成分献血に対応した大型移動献血車を購入
4 年 3 月	献血による血液凝固第Ⅷ因子製剤の供給開始
6 年 1 月	第一次全国赤十字血液センター統一コンピューターシステムを導入
9 月	第18回日本血液事業学会を金沢市において開催
7 年 4 月	赤血球MAPの有効期限短縮 (42日間から21日間へ短縮)
8 年 3 月	赤十字血液センターの増改築工事完成 (新館建設)
9 年11月	献血ルームラプロにおいて献血者200万人目達成
10年 5 月	第1回石川県輸血懇話会の開催
6 月	放射線照射輸血用血液が国に認可され供給を開始
11月	片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化 (成分献血9ベッド⇒10ベッド、問診用個室を新設)
11年10月	全国的にNAT (核酸増幅検査) を導入【500検体プール】 (検査施設 北海道千歳市、東京都江東区、京都府福知山市)
12年 2 月	NAT (核酸増幅検査)【プールサイズ500検体→50検体】
13年 5 月	赤十字血液センター・イントラネット導入
14年 3 月	赤十字血液センター・ホームページ開設
15年 1 月	赤十字血液センター採血所の業務拡大 (日・祝日を除く毎日開設)
3 月	片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化 (心電図室新設)
7 月	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律が施行
16年 5 月	第二次全国赤十字血液センター統一コンピューターシステムを導入
8 月	NAT (核酸増幅検査)【プールサイズ50検体→20検体】
10月	日赤本社に血液事業本部を設置 検査目的の献血防止対策として献血受付時の本人確認の実施
17年 2 月	宝くじ協会より移動献血車さちしお5号 (大型) 寄贈 金沢市において献血者250万人目達成
6 月	英国滞在歴に関する献血制限の実施
12月	片町出張所「献血ルームラプロ」平日献血強化のため定休日変更 (水曜日⇒土曜日)

平成18年 3 月	タッチパネルシステムを固定施設に導入 複数回献血クラブを設置
4 月	富山県赤十字血液センターの血液検査業務を集約
10月	福井県赤十字血液センターの血液検査業務を集約 献血手帳から献血カードへ切替 献血者健康被害救済制度を開始
19年 1 月	全血由来製剤の保存前白血球除去、初流血除去開始
11月	血小板血液製剤の有効期限が72時間から4日間に延長
20年 5 月	化学発光酵素免疫法（CLEIA法）検査機器の導入完了 赤十字血液センター・ホームページ更新
21年 3 月	製剤施設移転拡張（本館2階⇒新館3階）の工事完成 糖尿病関連検査（グリコアルブミン検査）のサービス通知開始
21年 4 月	富山県赤十字血液センター・福井県赤十字血液センターの血液製剤製造業務を集約
7 月	供給課冷凍室拡張、事務室・会議室等の内部改修工事完成
22年 1 月	宝くじ協会より移動献血車さちしお2号（中型）寄贈 1980年から1996年の英国滞在歴の献血制限が1日以上から通算1か月以上に緩和
3 月	血液事業広報用映像装置「デジタルサイネージ」導入 （赤十字血液センター採血所・片町出張所）
23年 4 月	石川県合同輸血療法委員会設立（県・血液センター・医療機関） 400mL全血献血が18歳から17歳（男性のみ）に引下げ 血小板成分献血が54歳から69歳（男性のみ）に引上げ
9 月	赤十字血液センターの移転用地を取得（金沢市藤江北4丁目地内 9,155㎡）
24年 4 月	血液事業が全国7つのブロック血液センターによる広域事業運営体制（広域的な経営体制及び需給管理体制）に移行 （北陸3県及び東海4県は東海北陸ブロックに所属） 石川県赤十字血液センターが「石川県赤十字血液センター」と「東海北陸ブロック血液センター石川製造所」に分離 ・ 赤十字血液センターの業務 献血推進、採血、供給、医薬情報活動及び献血ルーム運営 ・ 東海北陸ブロック血液センター石川製造所の業務 北陸三県の検査、血液製剤製造、献血者登録及び需給管理
5 月	多目的検診車1台を導入
8 月	B型肝炎ウイルス関連検査判定基準の変更（HBV感染既往血液への更なる安全対策）
10月	シャーガス病の安全対策の実施 片町出張所「献血ルームラブロ」献血者50万人目達成

平成25年 1 月	「献血の同意説明書」の導入	
10月	日本赤十字社・造血幹細胞提供支援機関に 国から指定を受ける	
26年 2 月	赤十字血液センター・ホームページ更新 (スマートフォン・タブレットに対応) 赤十字血液センター・イントラネット変更 (本部整備ネットワークに加入)	
3 月	献血ルーム移転 (片町出張所「献血ルーム ラプロ」から武蔵ヶ辻出張所 「献血ルーム ル・キューブ」へ移転し業務開始) 石川製造所の検査部門と献血者登録部門の一部業務を東海北陸ブロック血液センターに集約	
4 月	武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」開所式挙行	
6 月	血液事業情報システムを導入 (電子カルテ化)	
8 月	個別NAT (核酸増幅検査) を導入【20検体→1検体】 (検査施設8ヶ所: 北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中四国、九州の各ブロック 血液センターおよび関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所)	
9 月	石川県における献血者300万人達成	
27年 1 月	武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」献血者1万人達成	
11月	石川県赤十字血液センター地鎮祭 (移転建設工事開始) 武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」献血者2万人達成 血小板成分献血のPC分割開始	
28年 4 月	ALT製品除外基準の変更 【61 IU/L以上 → 101 IU/L 以上】	
10月	赤十字血液センターを金沢市藤江北に新築移転 県庁前出張所「献血ルーム くらつき」を設置 (全血献血2ベッド、成分献血8ベッド)	
29年 3 月	成分採血の血漿採取量の上限が600mL以下に変更	
10月	県庁前出張所「献血ルーム くらつき」献血者1万人達成	
30年10月	複数回献血クラブの会員サイトを一新し、愛称を「ラブラッド」に統一して運用を開始	
令和元年 7 月	第55回献血運動推進全国大会が石川県で開催 (石川県立音楽堂)	

ル・キューブオープン

藤江移転



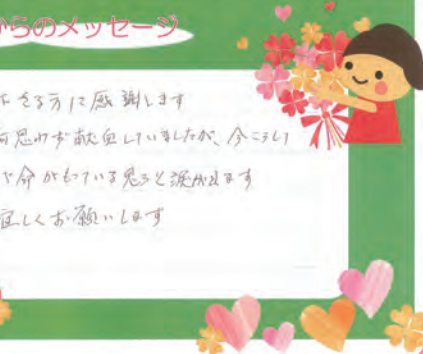
患者さんからのメッセージ

こんにちは
自分の体でありながら、どうしても思っ
ておりました、おかげ様で先にもと様になり
毎日すごしております。大変ありがとうございました。
した、どうお礼を言おうかいいのかわからな
い、ありがとうございました。



患者さんからのメッセージ

献血して下さる方に感謝します
若い頃は向いず献血していましたが、今では
皆様の血液や命がもたらしている恩を深く感じ
てこれからも宜しくお願いします。



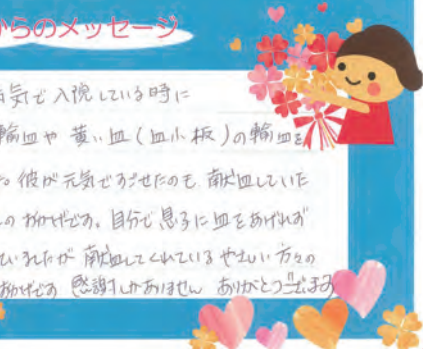
患者さんからのメッセージ

いつも ありがとうございます。
おかげさまで、命をつなげて頂いて
おります。
皆様の お気遣いに 感謝しております。



患者さんからのメッセージ

息子が 病気で入院している時に
赤い血の輸血や 黄い血(血小板)の輸血を
たくさんしてもらった。彼が元気になってくれたのも、献血にいた
たいて 皆様の おかげです。自分も息子に血をあげたい
と思うのですが、献血してくれているやさしい方々の
おかげで、感謝しかありません。ありがとうございます。



わたしたちの誓い

1. 献血される方と患者さんの「安全・安心」の架け橋になれるよう、私たちは常に努力します。
2. 「献血される方のやさしさ」に笑顔と真心と信頼でお応えするよう、私たちは心がけています。
3. 献血される方の「無償の愛」を、患者さんに大切にお届けするために、私たちは努力します。
4. 血液事業を通じて、地域医療に貢献し、日々成長し続けるよう、私たちは努めます。
5. 信頼され、希望に満ちた明るい職場づくりに、私たちは努力します。

平成 19 年 7 月 20 日

石川県赤十字血液センター
職員一同

成分献血のご協力・お問い合わせは

献血ルーム ル・キューブ

〒920-0909 金沢市袋町1番1号 かなざわはこまち3階
TEL(076)220-1655 FAX(076)220-1654

定休日 月曜日（祝日の場合は開設）

受付時間 400mL・200mL献血 10:00～12:30/13:50～18:00
成分献血 10:00～12:00/13:50～17:00



献血ルーム くらつき

〒920-8201 金沢市鞍月東1丁目1番地 (石川県庁前)
TEL(076)237-3745 FAX(076)237-5565

定休日 日曜日・祝日

受付時間 月曜日から金曜日
400mL・200mL献血 9:00～11:40/13:00～16:45
成分献血 9:00～11:00/13:00～16:00
土曜日
400mL・200mL献血 8:30～11:40/13:00～16:15
成分献血 8:30～11:00/13:00～15:30

